

最新のスポーツ科学を
どうやって教育現場で
活用するか？

2017.11.11 (土)
13:00-17:00

参加無料
申込不要

國學院大學 横浜たまプラーザキャンパス 1号館 講堂
(東急田園都市線 たまプラーザ駅下車 南口徒歩5分)

第1部「大学で学ぶべきスポーツ科学」

「競技力向上のためのマネジメント」

杉本 龍勇 (法政大学経済学部 経済学科教授)

研究領域はスポーツ経済学ならびにスポーツ経営学。陸上競技の短距離選手として1992年のバルセロナオリンピックに100mと4×100mリレーに出場。4×100mリレーでは、戦後初の入賞(6位)に貢献。スポーツ指導者として陸上競技はもちろんのこと、サッカーやラグビー、野球などのフィジカルトレーニングに関する指導に携わる。現在はサッカーの岡崎慎司、吉田麻也や宮市亮などを指導している。

「トップアスリートに対する科学的サポートを広く教育に活かすには」

窪 康之 (国立スポーツ科学センター スポーツ科学部副主任研究員)

専門分野はスポーツバイオメカニクス。新島学園短期大学コミュニティ子ども学科准教授などを経て現職。日本のトップレベル競技者の競技力を評価・診断して、競技力の向上に役立つデータやアドバイスを提供。特に、北島康介選手、松田丈志選手などの日本代表競泳陣に帯同し、これら医・科学支援はオリンピックでのメダルラッシュの一助となった。

第2部「大学での学びを教育現場で活用するには」

「発育発達から考える適切な指導」

村上 佳司 (國學院大學人間開発学部 健康体育学科教授)

「スポーツ心理学を教育現場でどう活用するか」

伊藤 英之 (國學院大學人間開発学部 健康体育学科助教)

「ICTを用いた運動指導とバイオメカニクス」

神事 努 (國學院大學人間開発学部 健康体育学科准教授)

人間開発学会

検索

TEL : 045-904-7719 (人間開発学部資料室)

E-mail : hd_society@kokugakuin.ac.jp

〒225-0003 神奈川県横浜市青葉区新石川3丁目22-1

主催 : 國學院大學人間開発学会

國學院大學人間開発学部

共催 : 國學院大學教育開発推進機構